

とり で じん じゃ さん が く  
鳥出神社の算額



△第1額



△第2額

2枚の算額が社殿に奉納されている。算額は、江戸時代、飯山地域には和算家わさんかがおり、和算を学ぶ人達がいたことがわかる。

第1の額は、天保14年（1843）の奉納、第2の額は弘化4年（1847）の奉納である。第1の額の方がやや大型である。

この2枚の算額は江戸時代に庶民文化の一つである和算が、飯山地域でも盛んであったことがわかる貴重な資料である。